

函館市次期廃棄物処理施設整備基本構想（案）に対する
パブリックコメント（意見公募）手続の実施結果について

案 件 名	函館市次期廃棄物処理施設整備基本構想（案）
募 集 期 間	令和8年(2026年)2月10日（火）～3月12日（木）
担 当 課	函館市環境部新廃棄物処理システム担当
意見提出者数	個人 1名（意見4件）

「意見の概要」については、原文を要約および分割して載せており、類似したご意見はまとめています。

○函館市次期廃棄物処理施設整備基本構想（案）に対する意見の概要と市の考え方

No.	意見の概要	市の考え方
1	ペンや古紙の回収ボックスを設置・増設してほしい。	<p>現在、ペンについては、中央図書館などの公共施設3か所で拠点回収しているほか、古紙については、町会などによる集団資源回収や民間事業者独自の回収の活用により、再資源化に努めているところです。</p> <p>回収ボックスの設置・増設については、市民の利便性や施設の性質、設置スペースの確保、回収量などを総合的に勘案し検討してまいります。</p>
2	粗大ごみを定期回収することを考えてほしい。	<p>粗大ごみについては、収集件数や収集量が少ないことから、電話による申込制としております。定期的な収集とする場合は、収集車両の増車など収集体制の見直しが必要となることなどから、難しいものと考えておりますので、ご理解願います。</p>
3	収集車は何台体制なのか。ごみ収集車にタブレットを導入してはどうか。	<p>市の収集業務を行う1日あたりの車両台数は、ごみ収集車が39台、し尿収集車が13台となっております。</p> <p>また、タブレットなどによるごみ収集管理システムの導入については、収集状況を即時に把握することが可能となるなど、市民からの問合せへのきめ細かな対応や収集業務の効率化が期待できる一方、導入や運用に費用を要するため、その費用対効果を検証しながら、導入について検討してまいりたいと考えております。</p>

No.	意見の概要	市の考え方
4	自動販売機のごみは、誰が収集しているのか。	自動販売機に設置されているごみ箱については、事業活動に伴う廃棄物として、設置事業者が収集・処分することになります。

意見等を考慮した結果の修正案	意見による修正はありません。
お問い合わせ先	環境部新廃棄物処理システム担当 TEL : 0138-85-8257 E-mail : kankyoh-shinhaikibutsu@city.hakodate.hokkaido.jp